

キャリアパス 概念図

看護部 教育目的

“発信力・傾聴力・問題解決力”を育み

ひとりひとりの看護師としての成長を支えます

第5段階

1. ケアの受け手の状況を経験をもとにアウトカムを予測し実践する事ができる
2. 看護単位における課題を明確にし、周囲を巻き込みながら目標達成に向けて協働できる
3. 多職種を巻き込みながらリーダーシップを発揮する事ができる
4. 看護研究を活用し看護の本質を深めながら実践し自己の看護を伝える事ができる

第4段階

1. ケアの受け手の状況に対応した創造的な看護実践ができる
2. 医療チームの一員として役割モデルとしての行動がとれる
3. 看護単位における課題を明確化し、適正な業務計画を立案し実践できる
4. 看護研究を通して科学的に看護を捉える事ができる

第3段階

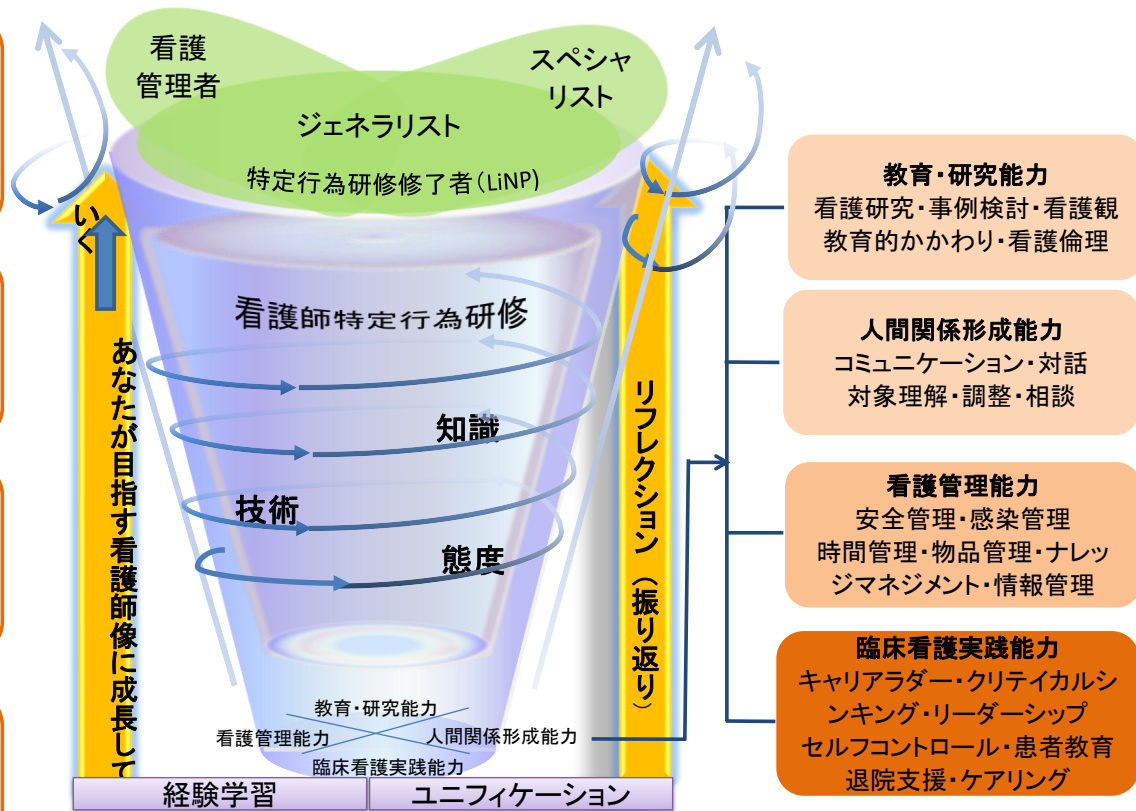
1. 個別的な看護実践ができる
2. 医療チームにおいてリーダーシップが発揮でき、多職種と協働できる
3. 看護単位の目標達成に積極的に参画できる
4. 看護研究的なプロセスを通して科学的に看護を捉える事ができる

第2段階

1. 標準看護計画を立案、実施、評価できる
2. リーダー業務の役割・責任を果たす事ができる。
3. 専門職業人としてマニュアルを遵守し、自立した行動がとれる。
4. 自らも学びながら他者の学びを支援できる

第1段階

1. 日常生活の援助の為に知識・技術・態度を身につけ、安全で確実なベッドサイドケアが実践できる
2. チームメンバーの役割と責任を果たす事ができる
3. 病院の理念、看護部の理念と目標を知り、組織の一員として規律に則った行動ができる。
4. 実践を通じた看護の探求に関心を持つことができる。



広島大学小川哲次先生より改変